

おおだて 市議会だより

令和7年8月1日 157号



議場にて（令和7年5月23日）

新しい議会の構成	▶	2
議案等の審議結果	▶	4
一 般 質 問	▶	5
議会報委員会、議員表彰	▶	12



YouTubeで公開中



副議長
明石 宏康
(真政会)

新しい議会の
構成をお知らせします



議長
藤原 明
(無所属)



委員長
田中 耕太郎
(令和会)



吉田 勇一郎
(令和会)



副委員長
田村 儀光
(真政会)



小畑 新一
(公明党)



藤原 明
(無所属)



佐藤 芳忠
(市民の風)



工藤 賢一
(市民の風)

厚生常任委員会 (定数7人)

総務財政常任委員会 (定数7人)



委員長
柳館 晃
(真政会)



伊藤 毅
(令和会)



副委員長
秋元 貞一
(令和会)



明石 宏康
(真政会)



伊藤 深雪
(公明党)



吉原 正
(市民の風)



伊藤 励
(市民の風)

【主な審査事項】

- ▼ 戸籍、住民基本台帳
- ▼ 国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療費、介護保険
- ▼ 国民年金
- ▼ 市民税などの賦課・徴収
- ▼ 防犯、交通安全対策
- ▼ 生活環境保全、廃棄物(ごみ・し尿)処理
- ▼ 市民の健康、地域医療
- ▼ 生活困窮者対策、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉
- ▼ 市立病院
- ▼ 保育園、児童館
- ▼ 斎場、ペット霊園

【主な審査事項】

- ▼ 総合計画
- ▼ 財政計画、予算編成
- ▼ ふるさと納税の推進
- ▼ 防災対策、危機管理
- ▼ 庁舎管理
- ▼ 広報・広聴
- ▼ 市の組織、職員人事
- ▼ 市有財産の利活用
- ▼ 工事の入札・検査
- ▼ 選挙、監査
- ▼ 消防
- ▼ 現金の出納・保管
- ▼ 他の常任委員会に属さない事項

議会運営委員会

議会運営に関することなどを協議します。

(◎委員長 ○副委員長)

◎武田 晋 (令和会)

○石垣 博隆 (真政会)

田中耕太郎 (令和会)

田村 儀光 (真政会)

花田 強 (市民の風)

岩本 裕司 (市民の風)

各種委員等

◇監査委員

小畑 新一 (公明党)

◇民生委員推薦会委員

田村 儀光 (真政会)

佐藤 芳忠 (市民の風)

◇都市計画審議会委員

菅原 喜博 (令和会)

金谷 真弓 (真政会)

相馬 エミ子 (市民の風)

◇秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員

藤原 明 (無所属)

委員長



佐々木 公司
(令和会)

副委員長



石垣 博隆
(真政会)



花岡 有一
(令和会)

教育産業常任委員会 (定数6人)

建設水道常任委員会 (定数6人)

委員長



菅原 喜博
(令和会)

副委員長



金谷 真弓
(真政会)



武田 晋
(令和会)



今泉 まき子
(日本共産党)



田村 秀雄
(真政会)



相馬 エミ子
(市民の風)



佐藤 和幸
(真政会)



花田 強
(市民の風)



岩本 裕司
(市民の風)

【主な審査事項】

- ▲農林業政策の総合企画
- ▲農林業、畜産の振興
- ▲農地等の利用集積
- ▲商工業の振興、企業誘致、中小企業の育成
- ▲観光及び物産振興、地場特産品の開発、流通促進
- ▲観光行事の振興
- ▲移住交流の推進
- ▲小・中学校の管理運営
- ▲学校給食、教育研究所
- ▲生涯学習の推進、芸術文化の振興、青少年健全育成
- ▲社会体育、スポーツ推進
- ▲公民館、図書館、郷土博物館

【主な審査事項】

- ▲道路、橋梁の新設・改良・維持管理、河川の改良・維持管理
- ▲都市計画の総合企画
- ▲都市計画、都市公園事業
- ▲市営住宅
- ▲中心市街地のまちづくりの推進
- ▲小規模水道
- ▲戸別浄化槽
- ▲水道事業
- ▲工業用水道事業
- ▲下水道事業

議案等の審議結果

令和7年5月臨時会では、議長・副議長の選挙、専決処分の承認3件、常任委員会委員の選任等を行いました。



6月定例会では、条例案7件、単行案5件、補正予算案7件、意見書案1件の合計20件の審議を行い、全て承認・可決されました。以下に主な内容を掲載します。議決結果の一覧は二次元コードからご覧ください。

< 6月定例会 >

財産の取得（単行案）

- ◆災害対応特殊救急自動車 1台、高度救命処置用資機材 一式
- ◆斎場家具 一式 など

令和7年度大館市一般会計補正予算案

- ◆小中学校照明設備LED化事業費 7億9,046万2,000円
- ◆比内中学校外壁耐震対策工事費 1億5,358万3,000円
- など、特別会計・企業会計を含め 補正総額16億2,174万8,000円

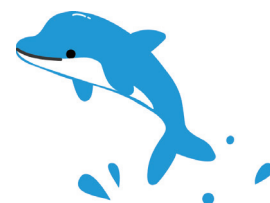
・ 請願、陳情の審議結果（不採…不採択、趣旨…趣旨採択、継審…継続審査）

番号	件 名	採 択	不 採	趣 旨	継 審
請願第7号	地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願	◎			
陳情第3号	学校給食費の無償化を求める陳情書			○	
// 第17号	学校給食費の無償化を求める陳情書			○	
// 第18号	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情				○
// 第23号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情				○
// 第25号	「小・中学校給食費の無償化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情			○	
// 第30号	市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情				○
// 第32号	「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書				○
// 第33号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書				○
// 第34号	ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情書				○
// 第35号	再審法改正（刑事訴訟法の一部改正）の意見書の採択を求める陳情書				○

（◎は意見書提出）



国へ意見書を提出しました。
「地方財政の充実・強化に関する意見書」



3月3日の記者会見について



たむら のりみつ
田村 儀光
(真政会)

〔問〕 市長の経歴詐称疑惑の説明に納得しない市民のために再度記者会見を開き、潔白を証明すべき

と思うが市長の考えは。詐称は失職に関わる事案である。また、新たに2018年の時系列に疑問を抱く市民もいる。9月定例会で再度質問させていただく。

〔市長〕 記者からの質問にはすべて答え理解を得たものと考えており、再度の記者会見は考えていない。

選挙公約の進捗について

〔問〕 市長就任9カ月であるが、公約、所信表明、早くも期待外れの声が多く聞かれるようになった。日本一の若さとスピードを市民に納得してもらえようアピー

ルすべきと思うが、市長の考えは。

〔市長〕 私が掲げる「子や孫世代と共に栄える大館」と所信表明で示した政策の柱を実現するため、おおだて未来づくりプランに搭載している施策に着実に取り組むとともに、議会に相談しながら適宜プランのアップデートを進めていく。

スタートアップ事業について

〔問〕 いつ、どのように行政サービスとして展開する方針か。

〔市長〕 3月のスタートアップピッチにおいて3者を選定した。このうち、(株)リハブフォー日本の提案については8月以降に実施するところまで話が進んでいる。事業内容はオンラインでリハビリ指導を行うもので、予防医療や介護予防への貢献が期待される。



9月下旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。



米の高騰と農家支援策について



よし わら ただし
吉原 正
(市民の風)

〔問〕 米の小売価格が高騰しているが、農家がもつかっているわけではない。農業の大規模化は大きな流れではあるが、小規模農家と共存する形が農村の維持につながる。今年度予算化された小規模農家支援策の現状は。また、引き続き小規模農家の営農継続への対策を進めるべきではないか。

〔市長〕 農機具購入への支援制度には44件の申請があり大きな手応えを感じている。農機具の共同利用等を今後も積極的に推進していく。

比内地域バス路線の再編について

〔問〕 各地区の座談会での反応は。また、土日祝日運行の廃止は地域住民のさまざまな社会参加の

機会を奪つことになる。運行実現を望む。

〔市長〕 座談会での説明でおおむねご理解いただいたと捉えている。土日祝日運行は要望が多かったため、運行事業者と早急に協議をしていく。

大葛ベニヤマ自然パークの利用拡大の取り組みを

〔問〕 昨年度は利用者が786人、うち8割が市外や県外からと賑わっている。ネットでの予約システムの導入や大館の食の体験ができる仕組みづくりを行うなど、利用拡大への取り組みを求める。

〔市長〕 オンラインでの予約システムの導入は、利用者の利便性向上や業務の効率化が期待されることから検討を進める。旧大葛小学校で食肉加工を行う本家あ



べやが、コテージ宿泊者限定で比内地鶏を中心に食材を提供している。PRに努めたい。





さとう かず ゆき
佐藤 和幸
(真政会)

老朽化が進む公共施設の今後の管理や在り方について

〔問〕 大館市公共施設等総合管理計画に対するこれまでの取り組みの評価と第3期計画に向けた市の方向性は。

〔市長〕 これまで通りすべての施設を維持していくことは困難である。公共施設の保有量や適正な配置について有識者や関係団体などで組織する協議会を新たに設置する。

休館しているベニヤマ荘の管理と運用について

〔問〕 プールの老朽化と腐食が著しく、住民や通行人からの不安の声が増えている。早急な解体が必要ではないか。

〔市長〕 比内ベニヤマ荘は施設の

老朽化が進み、対応が必要であると認識している。まずは屋根の飛散防止の処置をする。将来的には解体に向けて進めていく。

比内地域における公共交通の再編について

〔問〕 大葛、西館、東館での住民説明会において、土日祝日の運行を求める声が多くあった。10月から始まる実証運行に向けて再検討できないか。

〔市長〕 先般開催した座談会において、土日祝日の運行を求める意見が多く寄せられた。早急に運行事業者と対応を協議する。

過疎地域におけるこれらの移動手段の在り方について

〔問〕 予約型乗り合いタクシーや住民主体で運行するコミュニティバスなどの新たな移動手段の可能性は。

〔市長〕 本年度新たに公共交通を専門とする係を設置した。新たな移動手段や仕組みを整える必要があると考えている。



大館市議会YouTube公式チャンネルで
議会の様子を視聴できます📺



すが わら よし ひろ
菅原 喜博
(令和会)

Jークレジット制度を活用した市有林の管理について

〔問〕 近年、多くの森林を有する自治体や森林組合等がJークレジット制度を活用し、クレジットの売却益を所有する森林の整備や林業の活性化などに使用している。本市が目指すゼロカーボンシティの実現につながる取り組みであり、また、一般財源の負担軽減を図るためにもJークレジット制度を活用すべきである。

〔市長〕 Jークレジット制度の活用は、売却益を市有林経営の新たな財源とすることによる一般財源の負担軽減と、本市が目指すゼロカーボンシティの実現に資する重要な取り組みと捉えている。現在、市有林の二酸化炭素吸収量によるクレジット創出に向け情報収

集、検討を進めているところであり、本市にとって最も有益な形を見極めながら取り組んでいく。

人口減少対策について

〔問〕 4月の知事選で当選された鈴木知事は、初めて臨む6月県議会において、自身の肝煎り政策であるマーケティング戦略室を設置し結果を出していくことや、秋田県出身の子育て世帯に絞ったAターンを強力に推進することなどを打ち出した。本市においても機を逃さず県と歩調を合わせ、情報を共有しながら子育て世帯に絞ったAターン政策を強力に推進すべきである。

〔市長〕 本市においても、これまでの情報等の分析から18歳から35歳までの市出身者をメインターゲットと設定し、仕事、子育て、教育などに一括で対応できる支援体制を構築し、情報発信を強化している。県が進める子育て世帯への移住促進施策は市の方向性とも合致しており、県のマーケティングによる施策と歩調を合わせ、全庁を挙げて人口減少対策を進めていく。





お ば た し ん い ち
小畑 新一
(公明党)

少子化対策への取り組みについて

〈問〉さまざまな部署が多くの支援策を行っている。それらの課題と連携をどのように考えているか。

〔市長〕 それぞれの部署がその分野のエキスパートとして主体的に取り組んでおり、おおだて未来づくりプランに掲げた施策とそのKPIの達成を目指す上で最善の方法と捉えている。

人口減少社会に対応する政策について

〈問〉人口減少社会におけるコンパクトシティの推進について、市民や事業者の意見をどのように集約するのか。

〔市長〕 市では立地適正化計画を策定している。コンパクトシティの推進に当たっては、市民や幅広い

い分野の事業者との合意形成と価値観の共有を図っていく。

事業別フルコスト情報の開示に関する今後の取り組みについて

〈問〉事業別フルコスト情報の開示の必要性についての認識は。

〔市長〕 事業別フルコスト情報を活用できるようになった際には、DX推進のため、また既存事業の取捨選択のツールの一つとして活用しコスト削減を図っていく。

学校体育館への冷房設備導入について

〈問〉冷房設備導入の計画は。また、生徒の健康と災害時の安全性向上をどのように分析するか。

〔市長〕 学校の体育館に二次避難所を開設する場合であっても、健康状態に不安のある方や高齢者、乳幼児など、特別な配慮が必要な方については冷房設備のある教室等に優先的に避難していただく。空調設備導入の負担軽減を全国市長会を通じて国へ要望していく。

9月下旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。



い と う れ い
伊藤 励
(市民の風)

行政のデジタル化について

〈問〉日本経済新聞で2040年に自治体職員が半減する可能性が報じられ、池上彰氏の著書「池上彰の未来予測 After 2040」でも、今の備えが地域の未来を左右すると記されている。出勤簿や給与明細の電子化は将来の行政サービス維持に向けた重要な取り組みであると考えているが、市長の考えを伺う。

〔市長〕 出勤簿や給与明細のオンライン化は今年10月からの運用開始に向け準備中である。引き続きデジタル技術を活用し事務の効率化と職員の負担軽減を図り、市民サービスの維持、向上を目指す。

〈問〉紙の広報だけでなくラインやスマホなど、広報閲覧や公民館

予約の選択肢を増やし、子育て世帯から高齢者まで誰もが使いやすい行政サービスをすべくであると考えているが、市長の考えは。

〔市長〕 8月のライン公式アカウント運用開始に向け準備を進めており、必要な情報をタイムリーに届ける体制を整備中である。高齢者支援や施設予約のデジタル化も検討していく。

山田敬藏記念ロードレース大会における地域応援体制の強化について

〈問〉山田敬藏記念ロードレース大会はコロナ禍やコース変更の影響により沿道の応援が減少している。たつみ町など、町内会による太鼓やうちわの応援が好評であり、町内会と連携した応援体制の強化が必要と考えるが、市長の考えは。

〔市長〕 たつみ町などの町内会に応援いただき感謝している。今後町内会と連携し、応援体制の強化とスポーツへの参加促進に努めてまいりたい。





いまいずみ まきこ
今泉 まき子
(日本共産党)

公共交通の再編について

〈問〉大館版mobipプロジェクトについて、高齢の方でも利用しやすいような対策が必要と考えるが、市長の考えは。

〔市長〕 本格運行の移行後も、スマホやコールセンターでの予約方法の講習会や出前講座の開催を検討していく。

〈問〉郊外からの交通アクセスの充実について、比内地域の住民の声にどう応えていくのか。

〔市長〕 路線バスの利便性向上、交通結節点までの新たな移動サービスの構築など、交通事業者と共に地域ニーズに合わせたサービスの確保に努めていく。

市職員の兼業について

〈問〉兼業を導入する一番の目的

は何か。職員の負担とはならないのか。

〔市長〕 今年4月から運用を開始した職員の地域貢献活動に関する兼業の許可基準は、地域の課題解決や発展、活性化に寄与する公共性の高い活動を想定し、兼業の対象を具体的に示したものである。また、兼業の申し出は職員本人が行うことになっている。

小・中学校のすべての児童・生徒の入学に必要な制服や運動着等の購入助成について

〈問〉物価高騰対策や子育て支援策として運動着やかばん、制服などの購入費を助成してはどうか。

〔市長〕 本市では低所得者世帯を対象とした就学援助制度により、学用品費や給食費、通学用品費、修学旅行費などを支援している。また、入学に要する費用についても助成しており、子育て世帯の負担軽減に努めている。小学校入学時にはランドセルを贈る事業を実施している。



大館市議会YouTube公式チャンネルで
議会の様子を視聴できます📺



やなぎ だて こうじ
柳館 こうじ
(真政会)

市長の政治姿勢について

〈問〉市長の公約「子や孫世代と共に栄える大館」実現のための具体的な政策、数値目標を伺う。

〔市長〕 大館の暮らしを支える生産人口流出に歯止めをかけるため、スタートアップの誘致、新業種の企業進出や地元企業との連携につなげるピッチイベントを開催した。数値目標については自らの考えを施策に反映させて活動指標、評価指標の見直しを進めていく。

東大館駅の建て替えと現駅舎の移設、再利用について

〈問〉その後の進捗は。

〔市長〕 コロナ禍での鉄道利用客の減少や大雨による被害で改修計

画は中断しているが、JR側と協力して駅舎の保全活用を目指す方針に変わりはない。引き続き協議を継続していく。

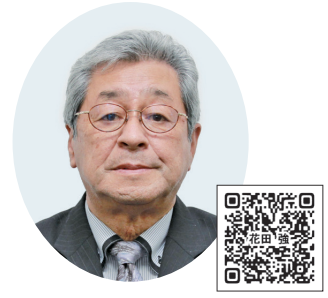
ふるさとキャリア教育の今後について

〈問〉今後、どのように捉えて深化させていくのか。また、今後の課題は。

〔教育長〕 「大館盆地を学び舎に、市民一人ひとりを先生に」を実現する上で最も必要なのは、子どもたちが大館に対する愛情や情熱、発展への思いを心に灯すことであり、知識を与えるだけでなく、キャリア教育を継続していく上で、心が震える体験、かついい大人の二つの出会いに焦点を当てた活動を展開していく。課題としては、視察等の受入れが特定の学校に集中しないよう調整し、教職員の負担の軽減を図っていく。



〈問〉 たしろ体育館の2階観覧席の手すりの間隔が異常に広く簡単にすり抜けられるため、子どもが落下する恐れがあり非常に危険である。体育館で大会を開催する関係者は「落下防止のため、一列目にはお子さんをすわらせないでください」と張り紙で注意喚起をしている。大会関係者に気遣いをさせながら危険な状態を放置していることに疑問を覚え、スポーツ振興課に改修の願いをしたが、一向に改善されない。万が一事故が起きたときはどこで責任を取るのか。また、手すりの幅を11cmにするの見通しが悪いとの意見もある



はな た つよし
花田 強
(市民の風)

たしろ体育館の2階観覧席の南・北側の手すりの改修について

が、樹海体育館のように、アクリル板でも日本産業規格に適合しているの、すぐに改修できると思う。市長の見解を伺う。

〔市長〕 たしろ体育館の2階観覧席前方の手すりについては、以前花田議員から転落防止対策について指摘を受けた際に、張り紙などにより利用者に対し注意喚起を行うよう対応した。手すりの支柱の間隔が広く、手すりをくぐって転落する危険があるとの指摘には、そのような事故が起こらないよう注意喚起に努めるとともに、指定管理者とも十分に認識を共有し、安全性と視認性に配慮しながら適切に対応していく。



9月下旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。



〔市長〕 要綱に定めのない通報者や匿名による通報があった場合でも、内容が公益通報に該当すると思われる事案は法令及びガイドラインに則して対応することとしている。今後はホームページを活用して周知を図るほか、同法の改正法案が成立したことも踏まえ、要綱の見直し等も適切に対応してまいりたい。

公益通報者保護制度の運用について



く どう けん いち
工藤 賢一
(市民の風)

扇田病院の方向性として示された「三つの選択肢」について

〈問〉 市長は扇田病院の方向性について、3月定例会で三つの選択肢を提示しているが、他の方法は考えられないのか。また、具体的にどのように議論を進めていくのか。

〔市長〕 三つの選択肢は今後の扇田病院の資金不足悪化を考えた場合に想定される選択肢を述べたもの。所管常任委員会での十分な議論をしていただいた上で、今年度中には次の方向性を定めていきたい。

〈問〉 病院事業経営強化プランの見直しはどのように進めるのか。

〔病院事業管理者〕 医療圏内の受療状況調査を踏まえ、医師会、医療介護関係者からの意見や外部有識者からの助言も頂きながら、今年度中に見直したい。





そう ま え み こ
相馬 エミ子
(市民の風)

消防団員の充足率と報酬は

〈問〉 消防団員の減少は全国的な問題であり課題でもある。近年、地震や山火事、大雨等が頻繁に発生し、消防団員の活動の重要性が高まっている。団員を増やすための処遇改善の取り組みと年額報酬の引き上げについて問う。

〔市長〕 昼夜を問わず市民の生命と財産を守るため尽力いただいている消防団員の皆さまに改めて感謝を申し上げる。人口減少の中、団員の確保は全国的な課題となっており、市では令和3年度から5年度にかけて報酬の段階的な引き上げを実施した。年齢制限廃止や定年延長、分団交付金の支給、応援の店事業、消防団協力事業所表示制度等により、団員確保に取り組んでいる。

高齢者の孤立防止対策

〈問〉 人口減少と高齢化率の上昇が同時に進行する中、行政として健康寿命を延ばすための啓発や健康教室、講座等を充実させることが求められている。また、2050年には県内の高齢者世帯のうち4割が独り暮らしになると推計されている。市の高齢者の孤立防止策について問う。

〔市長〕 市の高齢化率は40%を超え、高齢者の独居及び高齢者世帯数も増加傾向にある。市では健康講座やフレイル予防をテーマにした出前講座のほか、閉じこもりや要介護状態への進行予防を目的とした生きがい健康づくり支援事業を実施している。また、高齢者の居場所づくりや生活支援コーディネーターがサポートする形での互助組織の拡大を進めている。

その他の質問

・学校給食に地元食材の活用を
・市立病院眼科の診療時間に
ついで



大館市議会YouTube公式チャンネルで
議会の様子を視聴できます📺



さ さ き こう じ
佐々木 孝司
(令和会)

今、市長が最も力を入れて取り組んでいるプロジェクトは

〈問〉 施策とその進捗状況は。

〔市長〕 人口減少対策として、人口流出の抑制ややりがいのある仕事との出会いとして、スタートアップピッチや新たな産業の創出、起業・事業承継の支援に取り組んでいる。

令和のコメ騒動について

〈問〉 令和のコメ騒動、国の農業政策をどのように考えているのか。

〔市長〕 市は適正な生産量の確保を目指し、主食用米の大幅な増加を見込んでいる。米の流通面の見直しや稼げる農業に向けた施策を行い、農家所得の向上を図っていくべきと考えている。

野遊びSDGsの今後の展開について

〈問〉 アウトドアメーカー撤退後の市独自の計画は。また、野遊びと里山散歩を複合したサイクリングライフも取り入れてはどうか。

〔市長〕 民間主導での事業展開を行政が支援する形を考慮し、時間をかけて計画を立案する。五色湖周辺を重点エリアと位置付け、ソフートのコンテンツに重点を置き、大胆に推進したいと考えている。自転車を活用したスポーツツーリズムに取り組んでいく。

地球温暖化対策について

〈問〉 市の取り組みと市民への啓発は。

〔市長〕 2050年までのゼロカーボンシティ実現に向けた実行計画を策定している。市民や事業者が自分事として捉え対策を実践していくよう、啓発活動や支援制度の整備に努めていく。

その他の質問

・登山と熊被害防止対策について
・ウェルビーイングについて
など



一般質問

間もなく1年となる石
田市政について



あきもと 貞一
秋元 貞一
(令和会)

〔問〕 所信表明に対する自己評価と現状について伺う。また、二地域居住促進法を活用し大館創生を推進するべき。

〔市長〕 五つの柱の現状として、現在の進捗状況と今後の方向性を確認したところであり、大館未来づくりプランを推進する中でアップデートが必要な部分に関して、議会、市民の皆さまと力を合わせ、より良い大館を目指していく。二地域居住は地方への人の流れや、地域の担い手や後継者の確保、新たなビジネスや雇用、消費需要の創出など地域との継続的な繋がりで、関係人口を育み、最終的には移住・定住につながるものと認識している。現在、特定居住促進

計画を準備中であり、ふるさと住民登録制度とともに国の動向を注視しながら、速やかに対応できるよう準備していく。

ふるさとキャリア教育
の現状と今後について

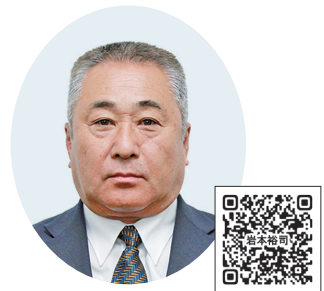
〔問〕 ふるさとキャリア教育を本市教育施策の根幹に据えて15年となる今、本市学校教育の現状をどう捉え、今後どのような方向に導こうとしているのか。

〔教育長〕 過去と現在の子どもの姿を比較したとき、小学校では仲間と共働して学ぶ力が格段に進歩しており、中学校では地域貢献意識が全国平均を大幅に上回っている。子どもの姿から見える教育の質が向上しているのが「大館盆地を学び舎に」をキャッチフレーズとしたふるさとキャリア教育の成果であることに疑いの余地はない。大館の子どもをこれだけ成長させることができたのは大館市民の皆さまの力であると確信しており、今後も子どもの輝きを一層高める努力を続けていく。

9月下旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。



カワウの水産観光資源
に与える被害対策につ
いて



いわもと ゆうじ
岩本 裕司
(市民の風)

〔問〕 カワウの個体数が増加し、内水面水産資源に被害をもたらしている。一羽当たり一日500グラムを捕食するといわれ、米代川の鮎などに甚大な被害が予想される。漁協では鮎の放流やウグイの産卵場所の確保に努めており、市でも対策が必要ではないか。

〔市長〕 県が定める第二種特定鳥獣管理計画に示された市町村の役割や対策を検討し、鮎の稚魚やヤマメ、イワナの放流などの漁協の取組を継続して支援していく。

深夜早朝タクシーの営
業について

〔問〕 深夜早朝のタクシー運行が無くなるとの記事があった。飲食

帰りのほか、通勤や医療従事者の利用もあることから、需要があるのなら空白時間帯解消の検討をすべき。

〔市長〕 市内すべてのタクシー業者と意見交換した。また、昨年度には支援事業を行った。深夜早朝の運行には人員確保や採算性などの課題があり、ライドシェアの活用、市内事業者間の共同配車システム導入の可能性も含め協議していく。

市役所職員の人員確保
について

〔問〕 職員の適正な人員を確保すべき。会計年度任用職員の確保に努め、再任用職員の処遇を改善し、経験と知識を後輩職員に伝えることで市長の政策実現ができるのでは。

〔市長〕 会計年度任用職員や再任用職員は、行政サービスの維持と政策の推進に大いに貢献するものと認識している。会計年度任用職員の任期は必要に応じて一会計年度の任用としており、再任用職員の処遇、給与等については国、県の制度に準拠している。



議会報告会回答



2月に行った議会報告会で寄せられた意見や質問への回答の一部を要約して掲載します。ホームページで全文を公開中です。

町内会について（市との協力体制や相談窓口、ごみ捨て場や街灯など町内会管理の費用等）

市から町内会への協力依頼の内容や方法、経費の試算等、連携の在り方について検討を進めています。相談先がわからない場合や複数の課にまたがる場合は総務課がお話を伺っています。

町内会で行う高齢者の間口除雪について

除雪困難世帯の間口除雪を実施する町内会を支援しています。毎年5月、前年度に事業を実施できなかった町内会等に事業の概要をお知らせして意向を伺い、併せて町内の高齢者宅の除雪に関する課題や現状についてご意見を伺っています。また、高齢者世帯の間口除雪対応については、土木課でも事情を伺い、除雪業者へ配慮するよう指示しています。



町内会が行う敬老会への支援について

高齢者への長寿のお祝いや多世代交流等の行事を支援しています。敬老会に限らず、地域が実施する幅広い行事へ活用できます。毎年4月上旬に全町内会長に対してお知らせと申請の手引をお送りして活用を働きかけ、未活用の町内会等にはお声掛けしています。



全国市議会議長会表彰

長年活躍した議員に表彰状が伝達されました。

15年



田村 儀光 議員

10年



小畑 新一 議員



石垣 博隆 議員



岩本 裕司 議員

～議会の情報をお届けします～



年4回（5月、8月、11月、2月）発行する「市議会だより」は私たちが編集しています。見やすく親しみの持てる紙面を目指します！

写真右から

伊藤 深雪 委員
今泉 まき子 委員
吉田 勇一郎 委員長
佐藤 和幸 副委員長
伊藤 励 委員

議会報委員会